

9. 薬物に対する知識

(1) 薬物乱用が与える心身への影響の周知度

Q25. ここで、もう一度、薬物の心身への影響についてうかがいます。

あなたは、薬物乱用が与える心身への影響についてどのようなことを知っていますか。次の中から知っていることをいくつでもお選びください。（複数選択可）

n		薬物乱用を繰り返すと、依存状態になる	思いのこんだりが自分の事ではない状態になることがある	声の聞こえたり、誰か何とも思っていない	覚せい剤の使用を繰り返すと、何もかも見失ってしまう	大麻を吸うと、現実と幻想の区別がつかなくなる	意識が異様になることがある	覚せい剤を使用すると、イライラして怒りやすくなったり、無意味な動作・行動をくりかえしたり、疑り深くなったりすることがある	「シンナー遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすい	覚せい剤を使用すると、脳の出血や心臓の異常で急性中毒死することがある
[年齢別]										
10代・20代 (計)	(824人)	95.0	75.5	68.2	65.0	61.5	56.7			
10代	(408人)	94.9	74.0	71.3	69.4	60.0	56.9			
20代	(416人)	95.2	76.9	65.1	60.8	63.0	56.5			
30代以上 (計)	(825人)	95.5	80.8	66.1	61.2	59.2	59.6			
30代	(207人)	97.6	78.3	60.4	56.5	71.0	54.6			
40代	(208人)	95.2	81.3	65.4	63.5	69.2	62.0			
50代	(206人)	95.6	82.0	68.9	63.6	52.9	57.3			
60代以上	(204人)	93.6	81.9	69.6	61.3	43.1	64.7			

n		大麻を吸い続けると、わけもなく怯えるようになるところがある	筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなることがある	「シンナー遊び」を繰り返すと、手足の痛み、歩けなくなることがある	M D M A (エクスタシー) を使用すると、意識がおかしくなったり、異常高熱で死亡したりすることがある	大麻を吸い続けると、何事にも関心が持たなくなり、学校を欠席しがちになる	知っているものはない	回答計
[年齢別]								
10代・20代 (計)	(824人)	55.7	46.0	38.8	35.0	3.4	600.8	
10代	(408人)	57.6	49.5	36.5	38.7	3.7	612.5	
20代	(416人)	53.8	42.5	41.1	31.3	3.1	589.4	
30代以上 (計)	(825人)	46.1	41.0	46.1	32.1	1.6	589.2	
30代	(207人)	41.1	39.1	46.9	26.1	1.9	573.4	
40代	(208人)	43.3	40.4	44.7	26.9	1.4	593.3	
50代	(206人)	50.5	42.2	50.0	36.4	1.5	601.0	
60代以上	(204人)	49.5	42.2	42.6	39.2	1.5	589.2	

薬物乱用が与える心身への影響についてどのようなことを知っているか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「薬物乱用を繰り返すと、依存状態になる」（10代 94.9%、20代 95.2%、30代以上（計） 95.5%）を挙げた者の割合が最も高く、9割以上を占めている。次いで、「覚せい剤の使用を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり、何も聞こえないのに声が聞こえたり、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思いきなり状態になることがある」（10代 74.0%、20代 76.9%、30代以上（計） 80.8%）、「大麻を吸うと、現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある」（10代 71.3%、20代 65.1%、30代以上（計） 66.1%）が挙げられ、「覚せい剤の使用を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり、何も聞こえないのに声が聞こえたり、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思いきなり状態になることがある」は30代以上（計）で、「大麻を吸うと、現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある」は10代でそれぞれ高くなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「大麻を吸うと、現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある」、「覚せい剤を使用すると、イライラして怒りやすくなったり、無意味な同じ動作・行動をくりかえしたり、疑り深くなったりすることがある」を挙げた者の割合は女性10代（75.2%、72.3%）で高く、7割以上となっている。

10代・20代学職別にみると、「覚せい剤を使用すると、イライラして怒りやすくなったり、無意味な同じ動作・行動をくりかえしたり、疑り深くなったりすることがある」を挙げた者の割合は高校生（70.8%）で高く、約7割となっている。「大麻を吸い続けると、わけもなく怯えるようになったり、奇妙な動作・行動をとるようになることがある」を挙げた者の割合は短大・大学・大学院生（64.2%）で高くなっている。

図表 2-2-9-1 薬物乱用が与える心身への影響の周知度

(%)

n		薬物乱用を繰り返すと、依存状態になる	自分の事を非難している人	こえのない声で話したり、何とも思っていない	覚せい剤の使用を繰り返すと、何	別がつかなくなり、現実と幻想との区別がある	あり、疑り深くなったりすることがある	同じ動作・行動をくりかえしたり、無意味な動作・行動をくりかえしたり	「シンナー遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすい	覚せい剤を使用すると、脳の出
[10代・20代性・年齢別]										
男性 10代・20代 (計)	(410人)	93.2	70.0	64.4	62.4	58.8	54.6			
10代	(202人)	93.1	67.3	67.3	66.3	58.4	58.9			
20代	(208人)	93.3	72.6	61.5	58.7	59.1	50.5			
女性 10代・20代 (計)	(414人)	96.9	80.9	72.0	67.6	64.3	58.7			
10代	(206人)	96.6	80.6	75.2	72.3	61.7	54.9			
20代	(208人)	97.1	81.3	68.8	63.0	66.8	62.5			
[10代・20代学職別]										
学 生 (計)	(413人)	96.4	76.5	72.6	68.5	61.7	57.6			
高校生	(195人)	96.4	72.8	71.8	70.8	59.5	56.9			
短大・大学・大学院生	(193人)	96.9	80.8	72.5	66.3	63.7	57.5			
高等専修・専門・予備校生	(25人)	92.0	72.0	80.0	68.0	64.0	64.0			
有 職 ・ 無 職 (計)	(411人)	93.7	74.5	63.7	61.6	61.3	55.7			
有職	(303人)	93.7	73.3	61.7	60.7	59.4	55.8			
無職	(108人)	93.5	77.8	69.4	63.9	66.7	55.6			

n		大 麻 を 吸 い 続 け る と 、 わ け も な く 怯 え る よ う に な る こ と が 多 く 有 る	「シンナー遊び」を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、歩けなくなる	MDDMA(エクスタシー)を使用すると、異常高熱で死亡したりすることがある	心が持たなくなり、学校仕事に閉	知っているものはない	回答計
[10代・20代性・年齢別]							
男性 10代・20代 (計)	(410人)	53.2	44.1	37.6	34.4	4.9	577.6
10代	(202人)	54.0	49.0	37.6	36.1	5.0	593.1
20代	(208人)	52.4	39.4	37.5	32.7	4.8	562.5
女性 10代・20代 (計)	(414人)	58.2	47.8	40.1	35.5	1.9	623.9
10代	(206人)	61.2	50.0	35.4	41.3	2.4	631.6
20代	(208人)	55.3	45.7	44.7	29.8	1.4	616.3
[10代・20代学職別]							
学 生 (計)	(413人)	60.3	48.7	40.2	41.4	2.9	626.9
高校生	(195人)	56.9	49.2	39.0	44.1	2.6	620.0
短大・大学・大学院生	(193人)	64.2	47.7	42.5	38.9	2.6	633.7
高等専修・専門・予備校生	(25人)	56.0	52.0	32.0	40.0	8.0	628.0
有 職 ・ 無 職 (計)	(411人)	51.1	43.3	37.5	28.5	3.9	574.7
有職	(303人)	50.2	41.9	37.3	28.1	4.0	566.0
無職	(108人)	53.7	47.2	38.0	29.6	3.7	599.1

10代・20代学校での薬物乱用防止学習の有無別にみると、すべての項目で学習経験があるの方が回答率が高く、差が大きい項目では20ポイント以上の開きがある。「覚せい剤を使用すると、イライラして怒りやすくなったり、無意味な同じ動作・行動をくりかえしたり、疑り深くなったりすることがある」、「大麻を吸い続けると、わけもなく怯えるようになったり、奇妙な動作・行動をとるようになることがある」、「「シンナー遊び」を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなくなったり、歩けなくなることがある」、「大麻を吸い続けると、何事にも関心が持てなくなり、学校を欠席しがちになったり、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる」

図表 2-2-9-2 薬物乱用が与える心身への影響の周知度

(%)

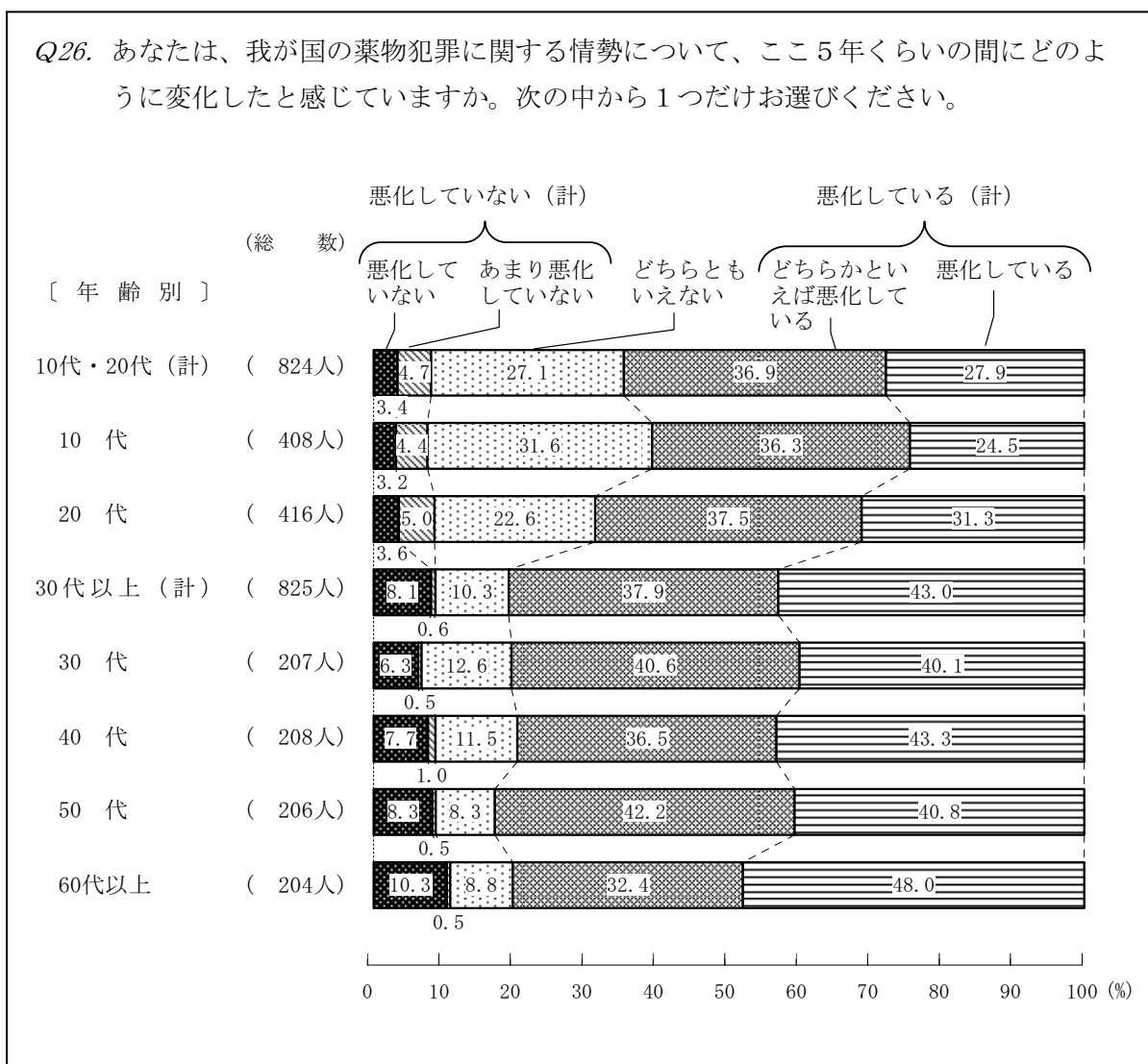
n		薬物乱用を繰り返すと、依存状態になる	自分の事を非難している人	自分も思っている人	何を聞かずに物が見えたり、何も聞かずに物が見えたり、何も聞かずに物が見えたり	覚せい剤の使用を繰り返すと、何も聞かずに物が見えたり、何も聞かずに物が見えたり	別がつかなく、現実と幻想との区別がつかなく、意識が異様に	大麻を吸うと、現実と幻想との区別がつかなく、意識が異様に	あり、同じ深くなったりすることが	なし、同じ深くなったりすることが	覚せい剤を使用すると、イライラ	「シンナー遊び」を繰り返すと、	や心臓の異常で急性中毒死する
[10代・20代学校での学習の有無別]													
あ	(632人)	97.0	79.6	72.2	70.1	64.9	59.7						
な	(192人)	88.5	62.0	55.2	48.4	50.5	46.9						

n		大麻を吸い続けると、わけもなく奇妙な動作が	「シンナー遊び」を繰り返すと、	M D M A (エクスタシー)を使用	大麻を吸い続けると、何事にも関	知っているものはない	回答計
[10代・20代学校での学習の有無別]							
あ	(632人)	60.4	51.4	40.8	40.2	1.9	638.1
な	(192人)	40.1	28.1	32.3	17.7	8.3	478.1

10. 薬物情勢に関する意識

(1) 薬物犯罪の情勢に対する認識

Q26. あなたは、我が国の薬物犯罪に関する情勢について、ここ5年くらいの間にどのように変化したと感じていますか。次の中から1つだけお選びください。

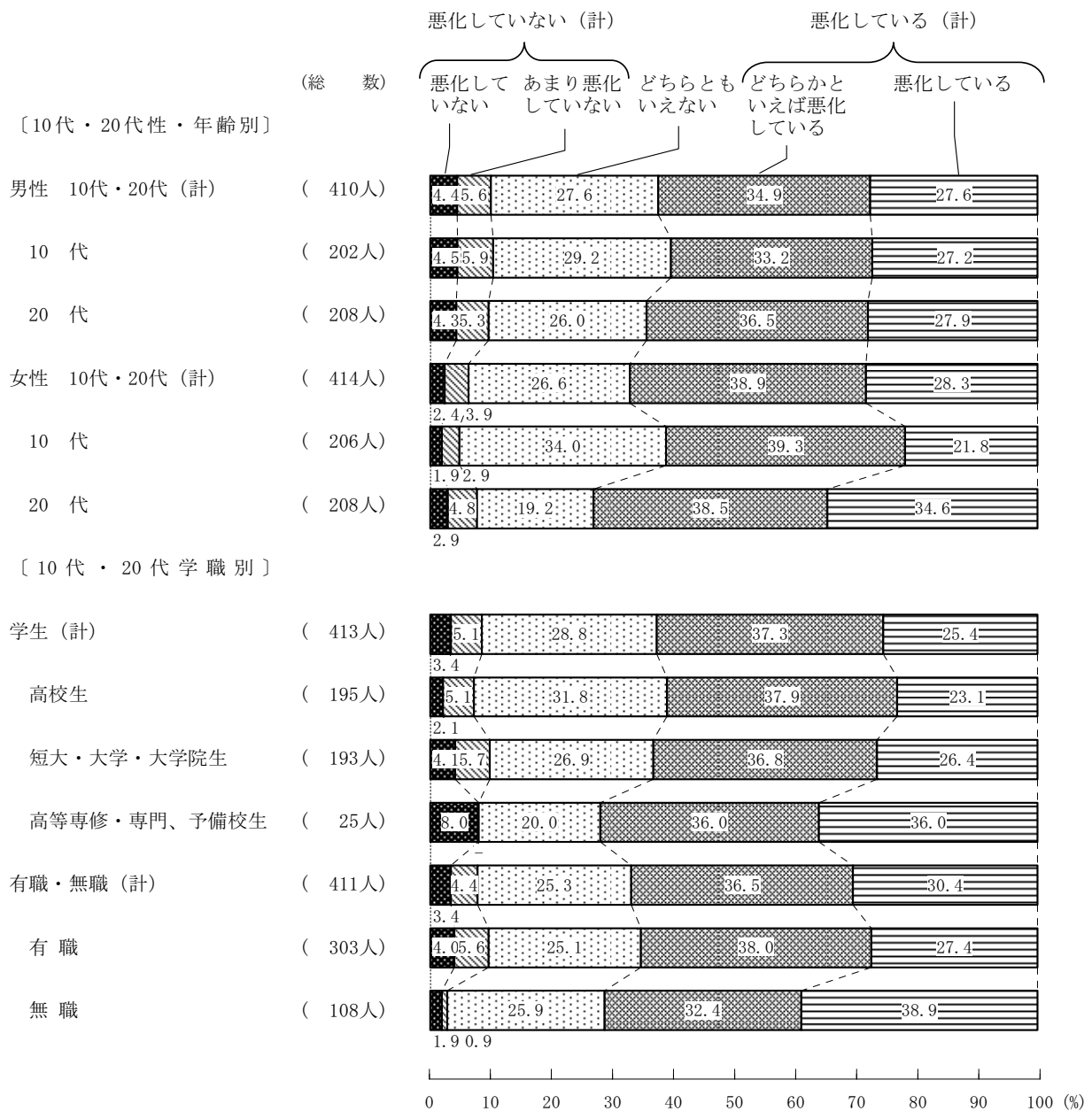


我が国の薬物犯罪に関する情勢について、ここ5年くらいの間にどのように変化したと感じるか聞いたところ、「悪化している (計)」 (「どちらかといえば悪化している」 + 「悪化している」) とする者の割合は10代 (60.8%) で約6割、20代 (68.8%) で約7割だが、30代以上 (計) (81.0%) では8割以上となっており、30代以上 (計) では「悪化している」 (43.0%) と答えた者の割合も4割以上と、10代、20代の若年層に比べて高くなっている。

10代・20代性・年齢別にみると、「悪化している（計）」とする者の割合は、男性（62.4%）より女性（67.1%）で高くなっている。

10代・20代学職別にみると、「悪化している（計）」とする者の割合は高校生（61.0%）、短大・大学・大学院生（63.2%）、有職（65.3%）では6割台となっているが、無職（71.3%）では7割以上となっている。

図表 2-2-10-1 薬物犯罪の情勢に対する認識



(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	悪化している (小計)	ア) 悪化している	イ) どちらかといえば悪化している	ウ) どちらともいえない	悪化していない (小計)	エ) あまり悪化していない	オ) 悪化していない	わからない
[年齢]									
15～19歳	124	75.0	36.3	38.7	16.9	2.4	-	2.4	5.6
20歳以上 (小計)	2499	75.2	43.9	31.3	13.2	2.2	1.8	0.3	9.4
20～29歳	254	72.8	32.7	40.2	19.7	1.6	1.2	0.4	5.9
30～39歳	383	79.6	47.8	31.9	13.8	2.1	2.1	-	4.4
40～49歳	406	83.0	51.5	31.5	11.8	1.5	1.2	0.2	3.7
50～59歳	496	79.8	47.2	32.7	11.3	2.4	2.2	0.2	6.5
60～69歳	531	73.1	46.3	26.7	14.1	1.9	1.5	0.4	10.9
70歳以上	429	62.7	33.3	29.4	11.0	3.3	2.6	0.7	23.1

11. 薬物乱用防止対策

(1) 薬物乱用防止のために政府に望む対策

Q27. あなたは、薬物の乱用を防ぐ対策として、政府にどのような対策に力を入れて欲しいですか。次の中からいくつでもお選びください。（複数選択可）

(%)

n		暴力団や不良外国人などの密売人の取締りの強化	薬物の密輸入に対する取締りの強化	薬物乱用者に対する取締りの徹底	薬物を密輸・密売した者に対する刑罰を厳しくする	薬物乱用青少年に対する補導の強化	薬物を乱用した者に対する刑罰を厳しくする	青少年の薬物乱用防止に対する指導や啓発活動の強化	薬物乱用の実態把握の推進	インターネットなど各種メディアに対する協力の要請	国民に対する各種啓発活動の推進
[年齢別]											
10代・20代 (計)	(824人)	75.1	67.5	58.7	55.3	54.2	53.8	35.3	32.3	31.7	28.2
10代	(408人)	72.8	68.1	56.4	55.6	51.5	48.8	35.8	33.3	28.4	29.7
20代	(416人)	77.4	66.8	61.1	55.0	57.0	58.7	34.9	31.3	34.9	26.7
30代以上 (計)	(825人)	87.3	81.6	70.2	74.5	63.0	69.5	47.2	36.8	36.0	40.4
30代	(207人)	86.0	75.8	68.6	70.5	60.4	68.1	38.2	37.7	34.3	36.2
40代	(208人)	82.2	81.3	69.7	70.2	61.5	66.3	45.2	33.2	36.5	35.1
50代	(206人)	87.9	80.1	70.9	76.2	63.6	69.9	50.5	36.9	36.9	43.2
60代以上	(204人)	93.1	89.2	71.6	81.4	66.7	73.5	54.9	39.7	36.3	47.1

n		薬物乱用防止の充実・強化	薬物乱用青少年に対する再乱用防止対策の充実・強化	警察官の数を増やすなどの取締り体制の充実・強化	薬物乱用防止の推進	薬物乱用防止の推進	薬物乱用防止のための研究開発	その他	特にな	わからない	回答計
[年齢別]											
10代・20代 (計)	(824人)	27.8	26.9	24.8	23.9	21.6	0.7	2.7	5.9	626.5	
10代	(408人)	27.0	26.7	23.8	24.0	21.3	0.2	2.5	8.1	614.0	
20代	(416人)	28.6	27.2	25.7	23.8	21.9	1.2	2.9	3.8	638.7	
30代以上 (計)	(825人)	35.3	35.8	28.0	31.4	25.6	1.1	0.8	1.0	765.3	
30代	(207人)	32.4	29.0	28.0	23.2	22.7	1.4	1.4	1.4	715.5	
40代	(208人)	33.2	31.3	26.4	25.5	20.2	1.9	1.0	0.5	721.2	
50代	(206人)	35.0	38.3	25.2	34.5	26.7	1.0	0.5	1.5	778.6	
60代以上	(204人)	40.7	44.6	32.4	42.6	32.8	-	0.5	0.5	847.5	

薬物の乱用を防ぐ対策として、政府にどのような対策に力を入れて欲しいか聞いたところ、10代、20代、30代以上（計）ともに「暴力団や不良外国人などの密売人の取締りの強化」（10代 72.8%、20代 77.4%、30代以上（計） 87.3%）を挙げた者の割合が最も高く、30代以上（計）では9割近くとなっている。次いで、10代、20代では「薬物の密輸入に対する取締りの強化」（10代 68.1%、20代 66.8%）、「薬物乱用者に対する取締りの徹底」（10代 56.4%、20代 61.1%）、30代以上（計）では「薬物の密輸入に対する取締りの強化」（81.6%）、「薬物を密輸・密売した者に対する刑罰を厳しくする」（74.5%）の順で挙げられた。

10代・20代性・年齢別にみると、「警察官の数を増やすなどの取締り体制の充実・強化」を挙げた者の割合は男性（30.7%）で約3割となっており、女性（18.8%）と比べて約12ポイントの差がみられた。

10代・20代学職別にみると、「暴力団や不良外国人などの密売人の取締りの強化」を挙げた者の割合は高校生（74.4%）、短大・大学・大学院生（76.7%）、有職（73.6%）、無職（75.9%）ともに最も高く、7割台となっている。次いで「薬物の密輸入に対する取締りの強化」が続き、高校生（71.3%）、無職（72.2%）は7割台、短大・大学・大学院生（66.3%）、有職（64.0%）では6割台となっている。

図表 2-2-11-1 薬物乱用防止のために政府に望む対策

(%)

n		強ど暴力団や人の取締りな	薬物の密輸入に対する	取締りの徹底に対する取	薬物を密輸・密売した者に対する刑罰を厳した	薬物乱用青少年に対する取締り強化	薬物を乱用した者に対する刑罰を厳した者に対する	青少年の薬物乱用防止	薬物乱用の実態把握の	力メンターネットなど各	インデリアに対する協	国民に対する各種啓発
〔10代・20代性・年齢別〕												
男性	10代・20代（計）	(410人)	76.8	65.9	55.6	56.3	51.5	51.5	33.4	31.5	32.0	29.3
	10代	(202人)	74.3	67.8	53.0	57.9	49.0	47.5	37.1	32.2	30.7	32.2
	20代	(208人)	79.3	63.9	58.2	54.8	53.8	55.3	29.8	30.8	33.2	26.4
女性	10代・20代（計）	(414人)	73.4	69.1	61.8	54.3	57.0	56.0	37.2	33.1	31.4	27.1
	10代	(206人)	71.4	68.4	59.7	53.4	53.9	50.0	34.5	34.5	26.2	27.2
	20代	(208人)	75.5	69.7	63.9	55.3	60.1	62.0	39.9	31.7	36.5	26.9
〔10代・20代学職別〕												
学 生	（ 計 ）	(413人)	76.0	68.8	61.0	57.4	56.4	52.5	36.3	34.6	30.5	29.3
	高校生	(195人)	74.4	71.3	57.9	55.9	53.8	48.2	41.5	34.4	29.7	30.3
	短大・大学・大学院生	(193人)	76.7	66.3	63.2	58.5	58.5	56.5	32.6	35.2	36.6	29.0
	高等専修・専門・予備校生	(25人)	84.0	68.0	68.0	60.0	60.0	56.0	24.0	32.0	36.0	24.0
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(411人)	74.2	66.2	56.4	53.3	52.1	55.0	34.3	29.9	32.8	27.0
	有職	(303人)	73.6	64.0	54.8	49.8	51.2	53.1	30.7	27.4	30.7	24.4
	無職	(108人)	75.9	72.2	61.1	63.0	54.6	60.2	44.4	37.0	38.9	34.3

n		充や薬物乱用防止の社会復帰の	薬物の密輸入に対する取締り強化	実・再物乱用防止の対策の充	実・再物乱用防止の対策の充	警察官の数を増やす体制の充	国際協力組の推進	薬物乱用防止の推進	その他	特にな	わから	回答計
〔10代・20代性・年齢別〕												
男性	10代・20代（計）	(410人)	24.9	25.1	30.7	26.1	22.0	1.0	2.9	5.6	622.0	
	10代	(202人)	24.8	26.7	31.2	28.2	23.3	0.5	3.5	7.4	627.2	
	20代	(208人)	25.0	23.6	30.3	24.0	20.7	1.4	2.4	3.8	616.8	
女性	10代・20代（計）	(414人)	30.7	28.7	18.8	21.7	21.3	0.5	2.4	6.3	630.9	
	10代	(206人)	29.1	26.7	16.5	19.9	19.4	—	1.5	8.7	601.0	
	20代	(208人)	32.2	30.8	21.2	23.6	23.1	1.0	3.4	3.8	660.6	
〔10代・20代学職別〕												
学 生	（ 計 ）	(413人)	28.1	27.1	22.5	24.5	23.2	0.7	1.2	5.8	636.1	
	高校生	(195人)	26.2	26.7	24.1	27.7	22.1	0.5	0.5	6.2	631.3	
	短大・大学・大学院生	(193人)	30.1	28.0	19.7	21.8	24.4	0.5	1.6	5.7	638.9	
	高等専修・専門・予備校生	(25人)	28.0	24.0	32.0	20.0	24.0	4.0	4.0	4.0	652.0	
有 職 ・ 無 職	（ 計 ）	(411人)	27.5	26.8	27.0	23.4	20.0	0.7	4.1	6.1	616.8	
	有職	(303人)	25.4	25.4	26.1	22.8	17.8	0.7	4.3	6.3	588.4	
	無職	(108人)	33.3	30.6	29.6	25.0	25.9	0.9	3.7	5.6	696.3	

(参考) 平成 18 年調査「薬物乱用対策に関する世論調査」

(%)

	該当者数	ア) 密売人の取締りの強化*	イ) 薬物の密輸入に対する取締りの強化	キ) 薬物の密輸者などに対する厳罰化*	ウ) 薬物乱用者に対する取締りの徹底	カ) 薬物の乱用者に対する刑罰を厳しく*	エ) 薬物乱用青少年に対する補導の強化	コ) 各種メディアに対する協力の要請*	オ) 取締り体制の充実・強化*	ケ) 薬物乱用防止の指導や啓発活動の強化*	ス) 再乱用防止対策の充実・強化*
[年齢]											
15～19歳	124	68.5	77.4	52.4	40.3	40.3	38.7	45.2	25.0	25.0	28.2
20歳以上 (小計)	2499	79.0	73.3	61.0	55.2	52.0	50.8	46.7	37.4	37.2	34.5
20～29歳	254	80.3	72.8	61.8	54.7	53.5	51.6	45.7	32.7	30.7	37.0
30～39歳	383	82.0	79.1	64.8	58.5	58.0	53.0	52.5	36.8	37.9	36.0
40～49歳	406	84.0	83.7	71.2	65.8	57.6	62.1	63.8	46.1	46.6	44.6
50～59歳	496	82.9	75.4	62.7	58.5	55.0	53.0	51.4	41.3	41.7	37.5
60～69歳	531	78.9	73.6	62.0	53.1	50.5	49.9	43.5	33.9	36.2	31.6
70歳以上	429	66.4	55.5	44.3	41.5	38.9	36.4	24.5	32.2	27.5	21.9

	該当者数	シ) 社会復帰や再乱用防止の支援の充実*	セ) 支援など国際協力の推進*	サ) 薬物乱用の実態把握の推進	ク) 国民に対する各種啓発活動の推進	ソ) 薬物乱用防止のための研究開発の推進	その他	特にない	わからない	計 (M. T.)
[年齢]										
15～19歳	124	30.6	21.8	29.8	16.1	21.0	-	0.8	3.2	564.5
20歳以上 (小計)	2499	33.9	31.9	29.7	26.8	24.9	0.5	1.0	3.2	678.8
20～29歳	254	34.3	29.5	35.0	22.0	26.8	-	0.8	2.0	671.3
30～39歳	383	36.3	29.8	30.3	26.4	23.8	0.3	-	0.5	705.7
40～49歳	406	45.6	41.6	41.4	33.3	34.5	-	0.2	0.5	822.4
50～59歳	496	38.5	35.9	30.6	30.0	27.0	0.8	0.6	1.0	724.0
60～69歳	531	30.1	31.3	26.2	27.5	22.4	0.8	1.5	1.9	654.8
70歳以上	429	19.8	21.9	18.4	19.3	16.3	0.7	2.6	12.8	500.9